

こまきしたぶんかきょうせいすいしんぷらん だい じ ぷらん さくてい
○小牧市多文化共生推進プラン【第2次プラン】の策定について

1. これまでの経緯と小牧市多文化共生推進プラン【第2次プラン】策定の趣旨

こまきしたぶんかきょうせいすいしんぷらん (以下、「げんざいのぷらん」) は、2011年3月に策定し、「みんな『こまき市民』、助け合って笑顔で暮らせるまち」をスローガンに、「地域社会への参加促進」と「個人の尊厳と基本的人権の尊重」をもとに5つの基本目標を立て、その実現に取り組んできました。

げんざいのぷらんの計画期間は当初、2011年度から2015年度までの5年間でしたが、計画終了となる2015年度時点での達成率が全体で51.6%と低い値に留まっていた。また、当時の小牧市多文化共生協議会(2016年3月31日解散)から、引き続き現在のプランの基本的な考え方や基本目標を今後の小牧市の多文化共生施策の指針として継承してほしいとの意見書が提出されました。このため、げんざいのぷらんの計画期間を延長し、引き続き達成率の向上を目指してきました。

しかし、リーマンショック以降、減少を続けていた外国人人口が増加に転じ、また国籍別構成でも、現在のプラン策定時点では50%近く存在したブラジル国籍の外国人の割合が減少し、代わってベトナム国籍やフィリピン国籍の外国人の割合が増加するなど、小牧市における外国人の構成が変化しつつあります。また、愛知県では、2018年3月に「あいち多文化共生推進プラン2022」を策定し、「多文化共生社会の形成による豊かで活力ある地域づくり」を基本目標に、ライフサイクルに応じた継続的な支援などを進めています。さらには、2018年12月に閣議決定された「外国人材の受入れ・共生のための総合的対応策」に、外国人材の適正・円滑な受入れの促進に向けた取組とともに、外国人との共生社会の実現に向けた環境整備を推進することが掲げられており、今後も外国人人口が増加し、その対応が必要となることが見込まれています。

こうした背景から、今後も引き続き「多文化共生のまち」をめざしていくためには、げんざいのぷらんの基本的な考え方や等を継承しながら、現在のぷらんを評価・検証し、より実効性のあるぷらんとすることや、現在

のプラン策定後に生じた新たな課題への対応などが必要であることから、2019年度策定予定の「小牧市まちづくり推進計画」に合わせ、現在のプランを改定し、小牧市多文化共生推進プラン【第2次プラン】（以下、「第2次プラン」）を策定します。

※用語の説明（現在のプランより抜粋）

○多文化共生

国籍や民族などの異なる人々が、互いの文化的ちがいを認め合い、対等な関係を築こうとしながら、地域社会の構成員として共に生きていくことです。

○こまき市民

小牧市内で暮らす人や働く人など、日常生活のなかで小牧市にかかわるすべての人として扱います。

○外国人市民

一般的に外国籍の人を表しますが、ここでは外国にルーツをもつ日本国籍の人も含むこととします。なお、外国人以外のこまき市民を「日本人市民」とします。

2. 策定期間

2019年夏策定予定の「小牧市まちづくり推進計画」の下位に位置づけられた、多文化共生を推進するための個別計画とするため、当該計画策定後に、あらためて基本的な考え方や基本目標の整合性を検証し、アクションプランを定めていく必要があります。このため、第2次プランの策定は2020年中を目標とします。

3. 第2次プラン策定に向けた実施項目（スケジュールは別紙）

○多文化共生に関するアンケートの実施（2018年3月実施済）

○多文化共生協議会の設置及び開催

多文化共生協議会は、第2次プランの策定にあたり、市民、企業及び地域の意見を聴くために設置します。

○多文化共生推進委員会の開催

多文化共生推進委員会は、市内に在住する外国人市民が地域において日本人市民と共生し、健やかな生活を送るための施策を市内各課が

連携し協議するために設置します。なお今年度は、第2次プランの策定について協議を行います。

○多文化共生推進委員会実務担当者会議の開催

多文化共生推進委員会実務担当者会議は、多文化共生推進委員会に付議する事項に関する企画、調査及び検討や、多文化共生推進委員会から付議された事項の調査及び検討などを行うために設置します。

○現状整理及び課題抽出

現状整理は、現在のプランの「プラン策定の背景」「位置づけ」に相当するものであり、小牧市に暮らす外国人市民の現状や、上位・関連計画の整理と整合性の確認を行います。

また現在のプランの評価・検証を行いながら、課題を抽出します。

○ワークショップの開催

ワークショップは、現在のプランの評価・検証と、今後対応していく必要のある課題を抽出するため、外国人市民や外国人市民を雇用する企業など、多様な主体が参加して実施します。

○第2次プラン（案）の策定

○パブリックコメントの実施

○第2次プランの印刷・製本・ホームページ公開（印刷・製本は2020年度に実施予定）

4. 小牧市の外国人住民数の推移

2019年4月1日現在の、小牧市の外国人住民数は、9,323人で、総人口の6.1%を占めています。現在のプランを策定する前の2008年4月には、ブラジル国籍を持つ人を中心に約9,600人の外国人登録者がいましたが、同年9月のリーマンショックをきっかけに、2014年4月には約7,100人にまで減少しました。その後は、ベトナムやフィリピン国籍を持つ人を中心に増加に転じ、リーマンショック前の水準に近づきつつあります。

2019年4月1日現在の外国人住民数を国別にみると、ブラジルが3,094人（33.2%）で最も多く、次いでフィリピンが1,402人（15.0%）、ベトナムが1,252人（13.4%）、中国が1,034人（11.1%）、ペルーが805人（8.6%）となっています。

こまきし がいこくじんじゅうみんすう すいい こくせきべつわりあい かくなん がつ にちげんざい
○小牧市の外国人住民数の推移・国籍別割合（各年4月1日現在）

